

経済側面での取り組み

お客さま、従業員、株主のため
「強い会社」をめざしていきます。

〔 2003年度総括と 2004年度の経営方針 〕

2003年度は、富士通を「元気で健康な会社」にすべく役員以下全社員において「お客さま起点」「納期と品質」「スピード」という基本の徹底に努めてきました。

その上で当面の経営課題として挙げた「事業収益力の向上」「財務体質の健全化」「事業構造の継続的な見直し」に取り組んだ結果、期初に掲げた業績目標を概ね達成することができました。

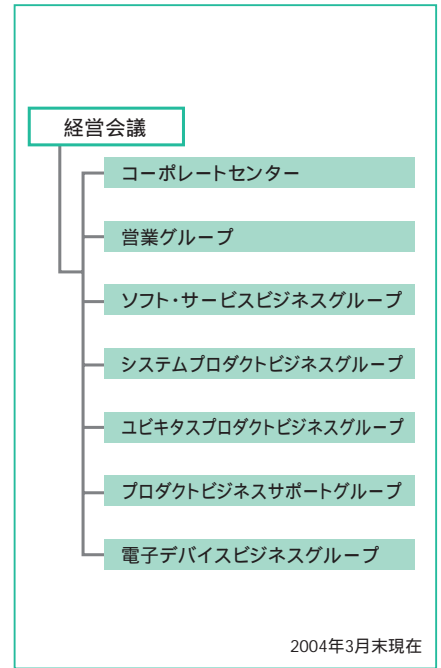
2004年度以降は、富士通がお客さま、従業員、株主にとって「強い会社」つまり「成長する会社」をめざし、次の4つにチャレンジをしていきます。

1. 既存ビジネスの徹底した体質強化
2. 新しい事業を創り、育てる
3. フォーメーションの革新
4. マネジメントシステムの革新

組織

総合力を活かすビジネスグループ制
当社の強みとして総合力を活かした「有機体経営」を追求するため、ビジネスグループ制を導入し、機動性と相互の連携を重視した組織としています。ビジネスグループ内ではリソース配分の柔軟性を確保し、シナジーを一層追求。さらに2003年度は、今後のマーケットニーズに合わせてプロダクトビジネスの競合性を高めるために、従来のプラットフォームビジネスグループ、独立ビジネスを3つのグループに再編しました。これにより、事業のスピードアップをはかるとともに、ものづくり品質向上/開発納期遵守などの取り組みを強化しています。なお、プラットフォームの名称はプロダクトに改称しています。

また、2004年度にはお客さまにより近い組織の実現など、富士通グループ全体の組織の革新に取り組んでまいります。



FUJITSUブランドについて

シンボルマーク



コーポレートメッセージ

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

富士通グループでは、グローバルな市場においてブランドが正しく認知され、高い競争力をもつ企業グループになるべく、「グローバル・ブランド・プロジェクト」などブランド強化のための活動を、専任部署を設けて行っています。

「FUJITSUのめざすもの」を、すべてのステークホルダーの方々と「約束」として簡潔に表したものです。このメッセージは「FUJITSUは、インターネット社会、ユビキタス社会のリーディングカンパニーとして、グループの総力を結集して、世界中のお客さまとともに『無限の可能性』を追求し、最適な商品、ソリューションを提供していきます」ということを表しています。

実績

期初に掲げた業績目標を概ね達成することができました。

2003年度業績目標(連結)

- ・売上高 : 4兆8,000億円
- ・営業利益 : 1,500億円
- ・当期純利益 : 300億円

主要財務データ

(単位: 億円)

	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
売上高(連結)	52,429	52,551	54,844	50,069	46,175	47,668
売上高(単独)	31,911	32,512	33,822	30,344	26,950	27,885
営業利益(損失)連結)	1,322	1,499	2,440	(744)	1,004	1,503
営業利益(損失)単独)	398	538	1,002	(546)	218	329
当期純利益(損失)連結)	(136)	427	85	(3,825)	(1,220)	497
当期純利益(損失)単独)	(215)	136	466	(2,651)	(1,750)	170

(単位: 億円)

	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
研究開発費(連結)	3,950	4,010	4,034	3,498	2,857	2,509
研究開発費(単独)	3,294	3,390	3,287	2,837	2,255	1,974
設備投資額(連結)	2,888	3,257	4,380	3,069	1,476	1,597
設備投資額(単独)	1,005	1,157	1,364	754	510	700

(単位:億円)

	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
総資産(連結)	50,256	50,197	52,000	45,958	42,253	38,655
総資産(単独)	35,513	33,804	34,439	31,785	29,262	30,229
株主資本(連結)	10,786	11,765	12,143	8,537	7,023	8,271
株主資本(単独)	10,707	11,600	12,242	9,596	7,711	9,346

主要財務データの連結の範囲は、財務会計の基準に準拠しており富士通グループの環境会計(P.23~24)の集計範囲とは異なります。
財務情報の詳細につきましては、下記ホームページより、アニュアルレポートなどをご覧くださいいただけますようお願いいたします。

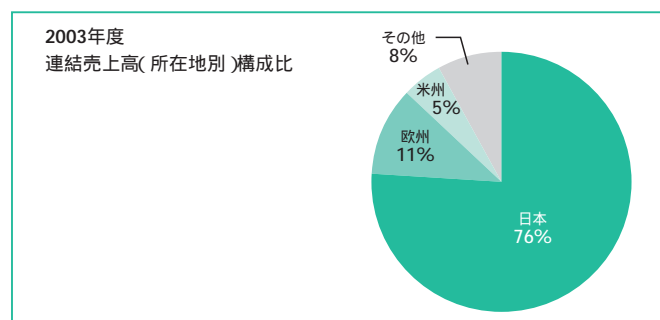
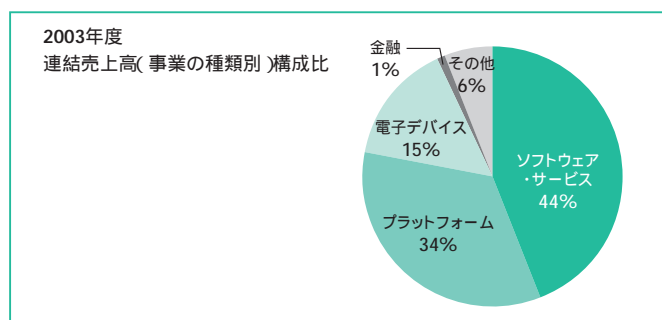
<http://pr.fujitsu.com/jp/ir/annual/>

事業の種類別セグメント情報(外部顧客に対する売上高) (単位:億円)

	連結売上高
ソフトウェア・サービス	20,942
プラットフォーム	16,081
電子デバイス	7,343
金融	503
その他	2,797
合計	47,668

所在地別セグメント情報(外部顧客に対する売上高) (単位:億円)

	連結売上高
日本	36,056
欧州	5,445
米州	2,544
その他	3,621
合計	47,668



環境会計(要約)参考

費用・効果の推移 (単位:億円)

		2001年度	2002年度	2003年度
富士通	費用	77	79	79
	効果	123	88	103
連結子会社	費用	110	110	111
	効果	120	122	136
合計	費用	187	189	190
	効果	243	210	239

効果の内訳 (単位:億円)

	2001年度	2002年度	2003年度
実質の効果	78	91	108
推定の効果	165	119	131
合計	243	210	239

従業員数の推移

従業員数の推移 (単位:人)

	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
従業員(連結)	188,139	188,053	187,399	170,111	157,044	156,169
従業員(単独)	44,191	43,627	42,010	40,483	34,690	34,836

